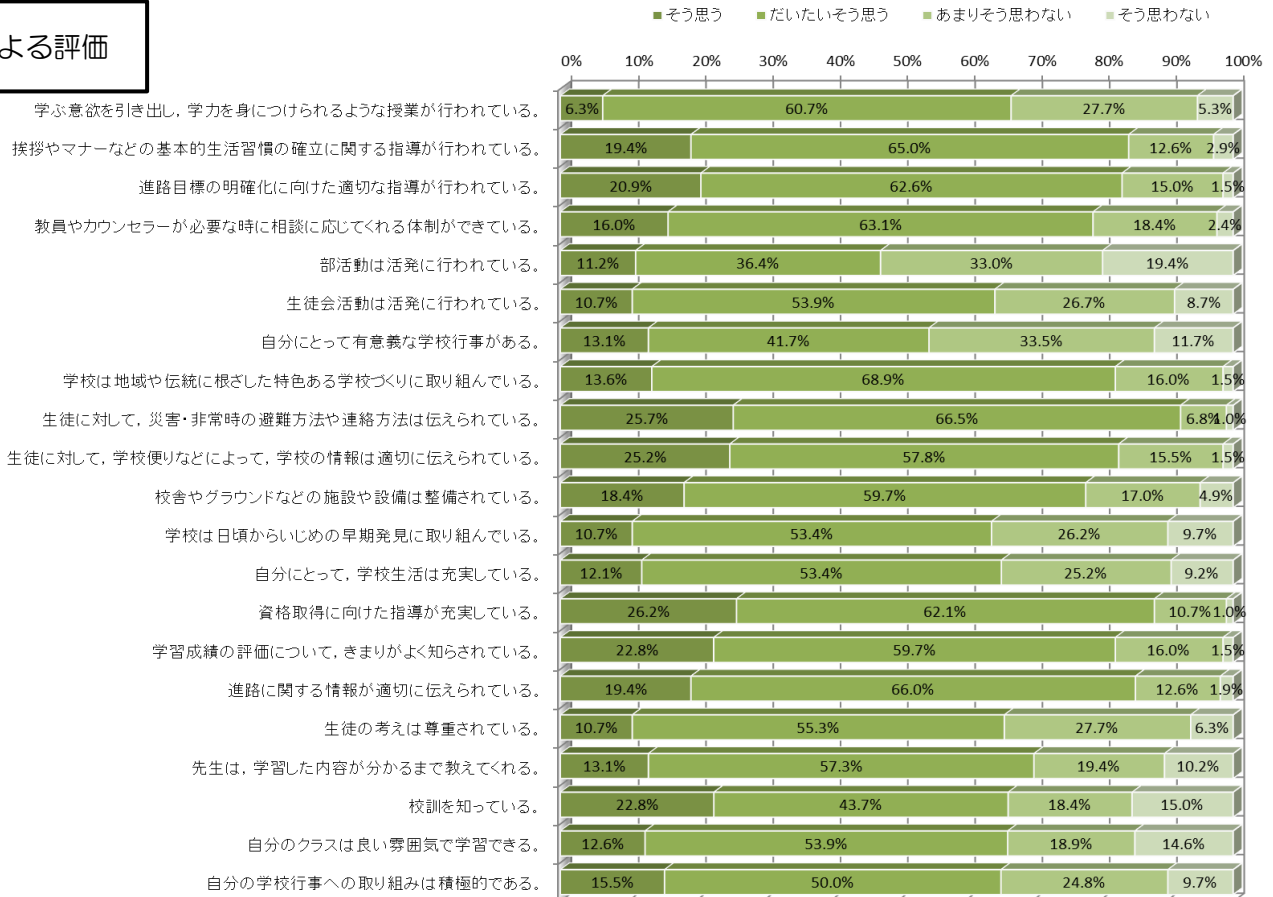


# 学校評価

宮城県鹿島台商業高等学校 発行  
〒989-4104  
宮城県大崎市鹿島台広長字杵師前4-4  
TEL 0229(56)2664 FAX 0229(56)2461  
URL <http://kasimadai-ch@myswan.ne.jp>

令和元年12月、全校生徒、保護者及び教職員を対象に「学校評価アンケート」を実施しました。結果がまとまりましたので、報告いたします。

## 生徒による評価



・回収状況 12月現在で在籍234名に対し206名で88.0%の回収率であった（前年度93.2%）

・分析【肯定的評価が高いもの、伸びたもの】

1 校訓を知っている。

創立70周年記念式典実施のため、生徒に周知・指導した事が高評価につながった。

2 校舎やグラウンドの施設や設備が整理されている。

効率よく事務室で計画的に環境整備に取り組んだ事による成果と考えられる。

3 自分のクラスは良い雰囲気です。

4 学校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

担任教諭を中心に生徒の小さな発信にも心を配り、組織的に対応を継続した成果と捉えられる。

5 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

全校一斉メールを活用する事で迅速に情報を発信できた成果と考えられる。

【肯定的評価が特に低く、または前年度比で特にマイナスのもの】

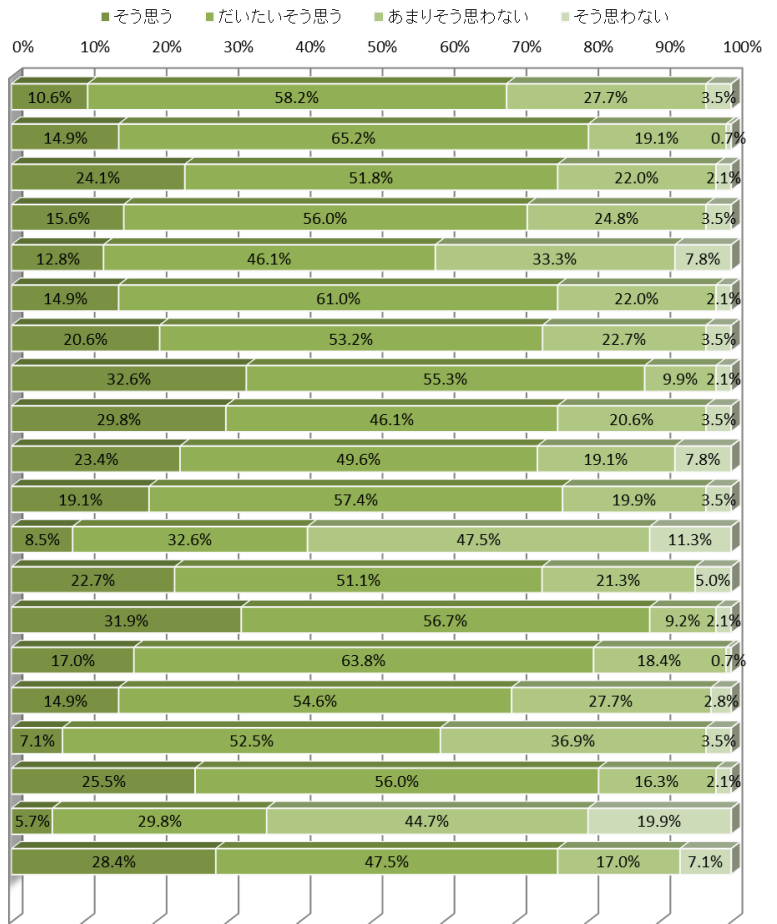
1 部活動は活発である。

昨年度に引き続き、前年比マイナスとなった。個別の活動自体は充実した感もあるが、部活動の活性化の意味でも、生徒指導部を中心に組織的な改革を進める。

2 自分によって有意義な学校行事がある。

今年度、様々な事故や自然災害等により学校行事が縮小開催を余儀なくされた。そのため生徒が学校行事に満足感を得られなかった事は否めない。

保護者による評価



・回収状況 12月現在で在籍234名に対し141名 60.3%の回収率であった（前年度66.5%）

・分析【肯定的評価が80%以上のもの及び前年比より上昇したもの】

1 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

肯定的評価は80.1%であり、基本的な生活習慣の確率に向けた指導については一定の評価を得ていると考えられる。

2 学校は地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりをしている。

肯定的評価は87.9%であり、キャリア教育の一環として取り組んでいる地域との協働活動に対して高い理解を得ている。

3 学習成績の評価に関する規程等が保護者に周知されている。

肯定的評価が80.8%であり、成績発表時等で担任からのきめ細かな指導が浸透してきていると考えられる。

4 資格取得に向けた指導が充実している。

肯定的評価が88.6%であり、検定補講期間の設定など資格取得に向けた体制が整っていることに好評価を得ている。

5 先生は、分かりやすい授業にするために工夫している。

肯定的評価は81.5%であり、教員の日々の取り組みが功を奏していると感じる。

6 校舎やグラウンドの施設や設備が整備されている。

効率よく事務室で計画的に環境整備に取り組んだ事による成果と考えられる。6.4%増加となった。

7 生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

全校一斉メールを活用する事で迅速に情報を発信できた成果と考えられる。4.0%増加となった。

【肯定的評価が特に低いもの、前年度比でマイナスのもの】

1 PTA活動は活発である。

今年度の肯定的評価は35.5%であり、全体の中で最も肯定的評価が低い。毎年PTA活動には担当部が工夫しているが、なかなか結果が出ない分野ではある。案内文書の配布仕方を改善するなど早期対策を図りたい。

2 学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

今年度の肯定的評価は41.1%であり、生徒の評価とも合わせ、早急に取り組まねばならない。担任のこまめな面談や対応に加え、家庭との連絡を今後も密にとり続け、家庭の理解を得られるよう努力をしたい。

3 お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。

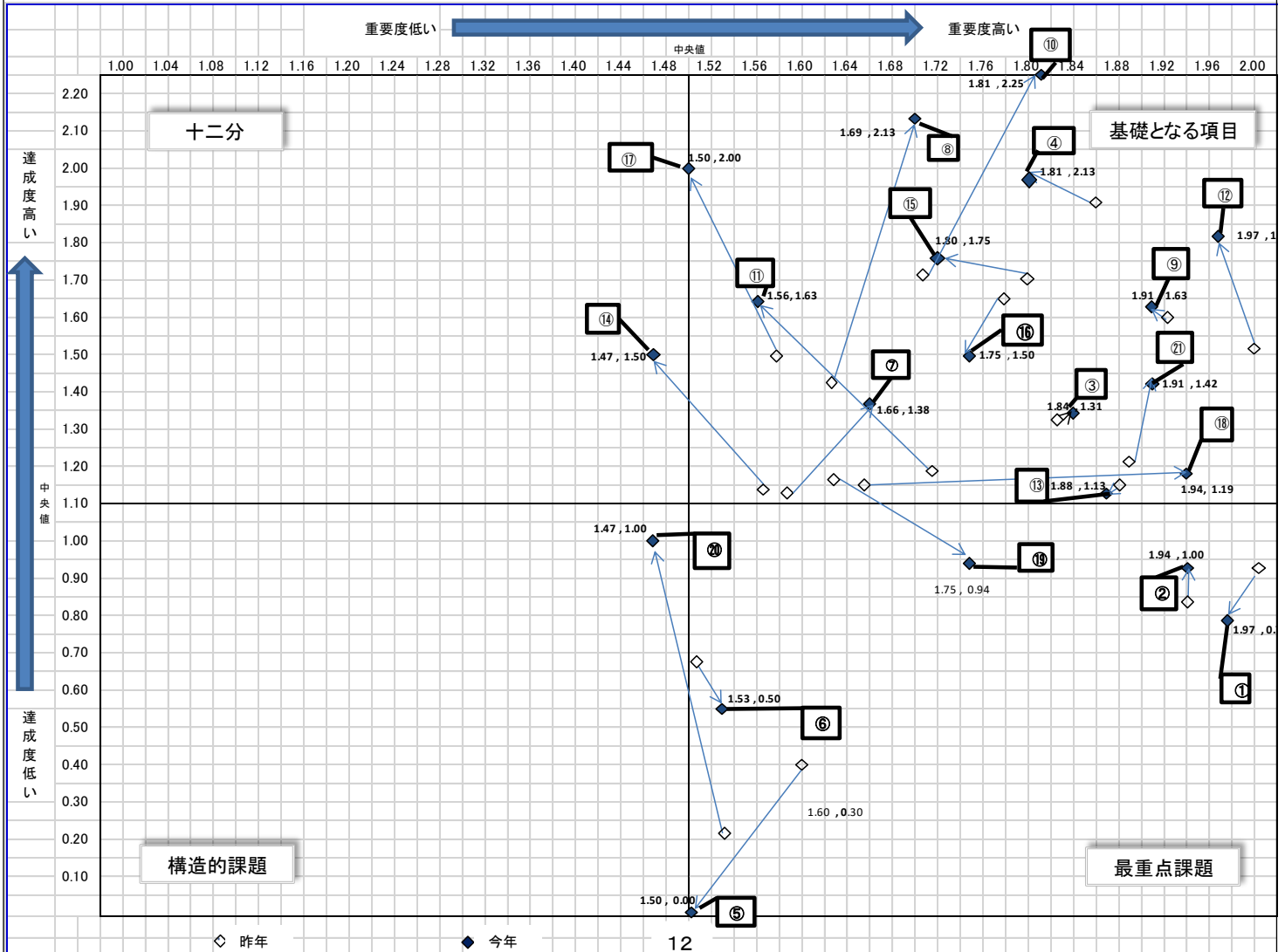
前年度比10.3%減となっている。教員の授業力改善へ向けた取り組みは、校内外研修や授業公開など積極的に取り組んでいるところである。年2回の基礎力診断テストの結果の効率的な活用を含め、今後さらに検討改善を重ねていきたい。

4 部活動は活発である。

肯定的な意見は58.9%と前年度比4.0%減となった。部活動は活発である。昨年度に引き続き、前年比マイナスとなった。個別の活動自体は充実した感もあるが、部活動の活性化の意味でも、生徒指導部を中心に組織的な改革を進める。

## 教職員による評価

生徒・保護者と同じ項目を設定し重要度と達成度を分析する形でアンケートを行った。重要度は「重要である」「やや重要である」「あまり重要でない」「重要でない」の4つ、達成度は「よく出来ている」「大体出来ている」「あまり出来ていない」「出来ていない」「わからない」の5つで評価し、数値化して、それぞれの項目について重要度と達成度の交わる点を取って示してある。昨年度からの変化をつかむため、今年度は昨年度の点から今年度の点にどのように変化したかを矢印で示すことにより、今年度の傾向を把握することにした。



・回収状況 100%

・分析【特に「最重点課題」の領域について】

- 1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業をすること
- 2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導をすること
- 5 部活動の活性化に取り組んでいくこと
- 6 生徒会活動の活性化に取り組んでいくこと
- 19 生徒や保護者に学校やクラスの様子をしっかりと知らせること
- 20 授業開始のベル着を徹底すること

部活動の活性化については、生徒・保護者・教職員の意見が一致している。この点については、早急に学校として組織的に改善を図ることとしたい。